小学校６年　国語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別				計
	話すこと･聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
＋10％ より高い	0	1	2	5	8
±10％ の範囲内	1	0	3	6	１０
－10％ より低い	0	0	2	0	2
計	1	1	7	１１	２０

（２）考察

①　全体について

ア　全体的に学習状況はおおむね良好である。

イ　「話すこと・聞くこと」「書くこと」についての学習状況はおおむね良好である。「言語事項」についてもおおむね良好であるが、これまでの指導の継続を心がけたい。「読むこと」については課題がある。

②　成果

ア　「書くこと」では、目的や意図に応じて書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理して記述することがおおむね良好である。

イ　「言語事項」では、日常よく使われる敬語の使い方が良好である。また、生活の中でよく使用される漢字の読み・書きや語句の意味の理解についてもおおむね良好である。

③　課題

ア　「読むこと」では、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることや、その描写についての、自分の考えをまとめる力が十分に身に付いているとはいえない。

イ　「言語事項」では、文の構成についての理解が十分とはいえない。

（３）今後の指導

ア　「読むこと」では、優れた叙述に着目して読む学習と同時に、その描写についての、自分の考えをまとめる学習活動を取り入れる工夫をしたい。

・登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、行動や会話、情景描写、暗示的な表現などの優れた叙述に着目して読むことを繰り返して指導する。

・自分で考えたり感じたりしたことをまとめながら読むために、場面の展開に沿って読みながら、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容などに気付き、それらを評価したり、自分の考えをまとめたりする活動を充実させる。

イ　「言語事項」では、知識・理解の定着を図るために継続的な指導に努め、話すことや読むこと、書くことの指導と関連付けたりしながら、様々な機会を捉えて指導したい。

・文の構成については、文の中での語句の係り方や照応の仕方に気付き、いろいろな文の構成があることについて理解させ、二つ以上の内容を一文にまとめて書いたりするなど、必要に応じて的確に伝えることを意識させる。

・仮名遣いについては、児童の仮名遣いの実態を把握すると同時に、語句の構成や変化などに着目して区別したり判断したりする学習を設定する。

18)　わたしが見たところ、父は今でも、コブラのままだ。とありますが、どんなところがコブラのようにまのように感じたのか。四十五字以内にまとめて書きなさい。

全国調査との関連問題

6)　次の二つの文を、理由を表す言葉を使って一文にまとめて書きなさい。

ア　ぼくたちは、試合に負けてしまった。

イ　ぼくたちはしっかり練習をしていなかった。

7)　次のア～エから正しいかなづかいで書かれているものを一つ選びなさい。

ア　みなさんこんにちわ。

イ　池の水がこうる。

ウ　立派なおおさま。

エ　川にていぼうをきずく。

共通問題小６・中１